

令和4年度 審判部 活動報告並びに諸連絡

【 1 】 2022年度(令和4年度)報告

- ◇ 県大会の公式審判員及び運営委員の選出 ()の数字は前年度の人数
 - 今年度の審判委嘱 134名(138名) 運営委員 16名(14名)
 - (審判段位 八段 10名(10)・七段 31名(34)・六段 29名(29)・五段 35名(39)・四段 29名(26))
 - 今年度実施の大会：審判員の人数不足は起こっていない。
 - 今年度より専門委員になられ、剣道四段以上の先生は、来年度から公式審判員として委嘱を予定。
- ◇ 県大会審判員・運営委員の割り振り
 - 顧問が複数いる場合も、庶務部からのデータによって監督が明確になったため、割り振りのミスは減った。
 - 男女同時開催の大会では、引き続き監督が当該試合場になるように割り振りを行っていく。
 - 男女同時開催の大会において、今年度の指名審判は準々決勝から実施した。
 - 新人大会では、若手の五段以上の先生方を積極的に指名審判に指名した。
- ◇ 県大会の審判運営全般
 - ・全日本剣道連盟ガイドライン、全国高等学校体育連盟ガイドライン、神奈川県高等学校体育連盟ガイドラインの内容を確認しながら、新型コロナウイルス感染防止策について検討を行い、安全な審判運営ができるように努めた。
 - ・全日本剣道連盟「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」(令和2年8月27日発出文書)に対する全国高体連剣道専門部の試合・審判法の共通認識を審判員が共有できるよう、来年度も引き続き講習会等を通じてより審判員の認識を深めていく必要がある。
 - ・各大会においてバランスの取れた審判員割り振りを行うことに努めた。
 - ・男子大会と女子大会、土日開催の違いによって、審判員や運営委員の数が少なくなることや当日の出欠席の増減が多くなる等、大会に出席する審判員や運営委員への負担が大きくなってしまいう状況が見受けられた。特に、土日に拘わらず、女子の大会は少ない状況であった。
 - ・審判員の所作については、以下の点を来年度も改善目標としたい。
 - 審判員席での足組み・腕組みや携帯電話の利用、居眠り(本部席2列目座席も同様)が行われている。
 - ・大会当日、審判員や運営委員の受付が、朝の打ち合わせの20分前に完了できていない。
 - 本部席付近に掲示されているQRコードにて受付を行い、スムーズな受付ができています。
 - ※ 審判員・運営委員の割り振りが完了次第、QRコードの近くに掲示するので、確認してください。
- ◇ 関東大会、全国大会への審判派遣
 - ・関東大会(群馬県開催) 10名派遣
前川 勝 (浅野)・鈴木 幸也 (大磯)・高山 達也 (幸)・富樫 昌克 (橘)
佐藤 宏拓(柏木学園)・赤井 あゆみ (麻溝台)・増田 昭雄 (湘南工大)・千葉 祐輔 (横須賀工業)
小林 直斗 (逗子開成)・西山 和毅 (秦野)
 - ・全国高校総体(高知県開催) 3名派遣
今里 学 (荏田・審判長)・前川 勝 (浅野・審判副主任)・加藤 伸一 (相模原弥栄)
 - ・第46回全国高等学校・中学校剣道(部活動)指導者研修会(千葉県勝浦市 日本武道館研修センター 開催)
講 師：今里 学 (荏田) 神奈川県派遣：加藤 伸一 (相模原弥栄)
 - ・全国選抜大会(愛知県開催)
派遣(予定)：前川 勝 (浅野)・加藤 伸一 (相模原弥栄)・樋口 崇 (藤嶺藤沢)
- ◇ 審判講習会の開催及び運営
 - ① 学校・警察 剣道伝達講習会(参加者を限定して実施)
4月18日(土) 神奈川県立武道館/主催：神奈川県剣道連盟
 - ② 剣道審判講習会：53名出席
7月18日(土) 県立 相模原弥栄高等学校/主催：神奈川県高体連剣道専門部
 - ③ 学校剣道講習会：30名出席
10月23日(日) 横浜高等学校/主催：神奈川県学校剣道連盟

【 2 】 2023年度（令和5年度）に向けた取り組み

◇ 県大会審判員・運営委員の割り振り

- ・上位審判員は、監督の出身校、出身大学を考慮して割り振りを行っている。
→ 特に、準々決勝からは、申し込み時の監督が監督席に座ること。
監督の変更は、大会当日の朝の打合せまでに審判部に申し出を行う。
- ・出欠席の変更は、当日も含めて審判部出欠確認専用アドレス kanagawa.kendo.shinpan@gmail.com に必ず連絡を行うこと。

◇ 審判技量の向上に向けた取り組み

- ・審判主任の先生に「アドバイスメモ」を記入し、各審判員に渡してもらう。
※ 審判員は、審判主任から渡されたアドバイスメモをよく確認し、次の試合に活かすこと。
試合ごとに、3名の審判員の先生方でのすり合わせも積極的に実施する。
また、不明な点は、審判主任に確認を行うか、審判部へご相談ください。

◇ 審判講習会の開催及び運営

- ・学校・警察 剣道伝達講習会（神奈川県剣道連盟） 4月 9日（日） 場所「東海大学」
 - ・剣道審判研修会（神奈川県高体連剣道専門部） 7月 15日（土） 場所「相模原弥栄高等学校」
 - ・剣道講習会（神奈川県学校剣道連盟） 未 定 場所「東海大学」（予定）
- ※ 各講習会・研修会の出欠席に関しては、必ず提出期日を厳守してください。
また、『新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法』の周知と徹底を図る目的でも実施されますので、校務ご多忙とは存じますが、積極的にご参加ください。
さらに、講習会の内容は、より良い試合運営とともに生徒の指導においても参考になりますので、剣道経験のない顧問の先生方も積極的にご参加ください。

【 3 】 審判員及び大会運営委員の服装について

全日本剣道連盟 試合・審判規則 同細則に準じて、次のとおりとする。

- (1)紺色無地の上着 (2)灰色(グレー)無地のズボン (3)白色無地ワイシャツ (ボタンダウン不可)
(4)えんじ色無地のネクタイ (5)紺色無地の靴下 (6)審判員章または運営委員章
(7)白色無地マスク (8)審判旗

※ 新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法に基づいて、審判旗と白色無地マスクは、各自で必ず用意し、大会に持参すること。

◎ 6月～9月の大会時の服装について

ワイシャツ(半袖)・えんじ色無地のネクタイ・灰色(グレー)無地のズボン・紺色無地の靴下・審判員章または運営委員章

※ 大会当日の気候等の状況により、専門部長、専門委員長及び審判長(副審判長)と協議の上、上着を着用しなかったり、ネクタイを外したりする等の判断を行うことがある。

※ 上着の下にセーター・ベスト等は着用しない。

【 4 】 その他

◇ 大会前登録（審判員、運営委員、監督）について

- ・「前期（関東・全国）」「後期（新人・選抜）」の2回に分けて、出欠確認を行います。
ホームページの「大会要項・大会申込」ページ「審判員・運営委員登録」から出欠登録をお願いします。
※ 複数顧問のいる学校は、個別に登録をお願いします。
なお、選手がいない場合でも、ホームページから出欠席の登録をお願いします。

◇ 大会当日受付（審判員、運営委員）について

- ・朝の打ち合わせ 20分前までに、会場に掲示されているQRコードにて受付を行ってください。
※ 審判員割り振りの都合上時間厳守でお願いいたします。

◇ 欠席・変更（審判員、運営委員、監督）連絡先について

- ・審判部出欠確認専用アドレス kanagawa.kendo.shinpan@gmail.com